


# しまねの土地改良だより

平成 25 年 10 月 1 日発行

 水土里ネット島根

## ■水・土・里かがやく北の大地 明日を担う土地改良

＝ 第 36 回全国土地改良大会 i n 北海道 ＝

第 36 回全国土地改良大会・北海道大会が、9 月 11 日、北海道札幌市の道立総合体育センター「北海きたえーる」で開催され、大会テーマ「水・土・里かがやく北の大地 明日を担う土地改良」の下、全国から約 3 千名の土地改良関係者が参集（県内 61 名参加）しました（主催：全国土地改良事業団体連合会 野中広務会長・北海道土地改良事業団体連合会 眞野弘会長）。



主催者挨拶をする野中全土連会長

この大会は、農業農村整備に携わる全国の関係者が一堂に会し、農業・農村の重要性や役割を国民にアピールするとともに、関係者の総力をあげて農業・農村をさらに発展させることを目的として毎年開催されるもので、本県では平成 21 年 10 月に開催しました。

大会式典で主催者を代表して挨拶した野中全土連会長は、「食料の生産、国土の保全、農村社会の維持のいずれにおいても危機感が忍び寄りつつある中、食料自給率の向上、攻めの農業の実現、農業の持続的発展と農村の振興などの必要性・重要性について、今まで以上に国民的理解の醸成を図っていくことが必要であり、今回、大規模で専門的な農業が展開されている国内最大の食料供給地域である北海道で土地改良大会が開催された意義は大きい。」と述べられました。当日は、江藤農林水産副大臣、高橋北海道知事らが来賓として出席され、祝辞、歓迎のことばが述べられました。

引き続き行われた、土地改良事業功績者表彰では、農林水産大臣表彰 6 名、農村振興局長表彰 16 名、全土連会長表彰 44 名の表彰式があり、本県からは、高宮守國都万下田土地改良区理事長（隠岐の島町）が全土連会長表彰を受賞されました。



全土連会長表彰を受賞した高宮理事長

大会宣言では、「我が国の農業・農村の礎である『水・土・里』を守り、さらに発展させ、次世代に引き継いでいく」ことが高らかに宣言されました。

12 日～13 日は、事業視察が行われ事業地区の見学、また、北海道の自然や文化・歴史にふれました。

★第 37 回大会は、平成 26 年 10 月 30 日、山梨県「アイメッセ山梨」で開催されます。

・水・土・里かがやく北の大地 明日を担う土地改良	1
・淀原大堤で外来種駆除と環境整備を実施	2
・第 5 回浜田地区集排汚泥利活用検討委員会	3
・田んぼの学校・3 時間目「稲刈り」	4
・今後の主な予定	4

## ■淀原大堤で外来種駆除と環境整備を実施 = 邑南町 =

### ■ため池干しによる外来種駆除作戦

9月16日、邑南町の「淀原大堤」で、島根県、邑南町、農村災害専門技術者、本会職員など42名が参加して外来種（ブラックバス）の駆除を行いました。また、当日は、生態系学習の一環として、瑞穂中学校2年生27名も参加しました。

7月下旬から水抜きしたため池の水位は、約30cmまで低下しましたが、底部には土砂が堆積し、捕獲は腰まではまりながらの作業となりました。捕獲作業は1時間程で終了し、ブラックバス30匹、フナ50匹を捕獲しましたが、過去に駆除を行ったため池での捕獲数（500匹～1000匹）と比べると極端に少なく、予想していたよりも生物多様性は低いと感じました。

捕獲したブラックバスを前に、瑞穂ハンザケ自然館（邑南町）の平川館長は、「ブラックバスなどの外来種により、日本に生息する生物の安定した生態系が崩れ、周辺環境に影響を及ぼしかねない。このような活動を通じて、地域の環境を守るために一人一人の意識・行動を変えて行くことが大切である。」と述べられました。

この活動の目的は、ため池に繁殖したブラックバスなどの外来種を駆除し、本来ため池に生息する固有の生態系を保全することです。

今回の外来種駆除により、以前よりも淀原大堤やその周辺の生物種が増えていくことを期待したいと思います。

### ■淀原大堤点検隊

外来種駆除に引き続き同日午後から、島根県農村災害支援協議会（田中修会長（県土連専務理事））主催の「淀原大堤 草刈り・点検活動」を実施しました。

淀原大堤は、約21haの農地を潤す重要な農業用水源として、平成6年から11年にかけて改修（堤高18.7m、堤長100m、堤頂幅6.5m、貯水量74,900m<sup>3</sup>）され、ため池周辺は散策や水に親しむことが出来るようになっています。

当日は、農村災害専門技術者、農村災害ボランティア、島根県、県土連などから総勢41名が参加し作業が行われました。

堤体の法面には、改修から約14年経過していることもあり、数メートルの雑木や草が繁茂しており、草刈りの外、雑木の伐採、粉碎処理など約半日がかりの作業となりました。

ため池の維持管理は、良質な農業用水を確保するためや、防災・減災面においても重要であり、管理者あるいは利用者の責任において定期的に行われるものですが、農村部の過疎化や農家の高齢化・減少などのため適切な維持管理ができない状況となっています。農村災害支援協議会は農村災害ボランティア会員や各地域協議会と連携しながら今後も積極的にボランティア活動に取り組んでいきたいと思っています。



捕獲作業の様子



参加者全員で記念撮影



堤体に繁茂している雑木



伐採後の堤体の様子

## ■第5回浜田地区集排汚泥利活用検討委員会 =浜田市=

9月4日、浜田市役所において、第5回浜田地区集排汚泥利活用検討委員会（田中修委員長（県土連専務理事））が開催されました。

この委員会は、本会が、平成23年度から平成25年度にかけて浜田市で実施している、集排汚泥肥料を利用した作物栽培実証事業の事業内容や調査結果の取りまとめについて、学識経験者等の専門的立場からアドバイスを受けるために設置されているものです。

当日は、委員、浜田市、地域環境資源センター及び本会から11名が参加し、田中委員長の挨拶に引き続き、提案された以下の議事について協議が行われ、すべて了承されました。



検討委員会の様子

### 【今年度の事業計画概要】

#### 1 作物栽培実証調査

##### (1) 生育関連調査

地区名	汚泥肥料	用途	栽培作物	実証ほ場
三隅地区	汚泥発酵肥料	土づくり肥料の代替	そば	慣行ほ場(1タイブ)・汚泥ほ場(2タイブ)
金城地区	脱水乾燥汚泥肥料	化成肥料の代替	お茶	慣行ほ場(1タイブ)・汚泥ほ場(2タイブ)

##### (2) 土壌調査

各ほ場において、施肥前及び収穫後に、土壌の成分分析を実施し、土壌の肥沃度、安全性のための重金属等の有害成分の蓄積を確認する。

#### 2 集排汚泥肥料の製造及び成分分析調査

##### (1) 三隅地区

現在の汚泥堆肥製造方式（堆積方式）に加え、「切り返し方式」で試験製造を実施する。

##### (2) 汚泥肥料成分分析調査

汚泥肥料の肥料成分、安全性のための重金属等の有害成分及び衛生面からみた、大腸菌成分を確認する。

#### 3 汚泥肥料に関するヒアリング等調査

浜田市実証地区及び汚泥肥料利活用実績のある県内市町村や農家などを対象に

- ・汚泥肥料を利用することのメリットや評価
- ・集排汚泥の肥料化に取り組んだきっかけ
- ・期待している効果
- ・利活用を行ったことにより得られた経済性

等についてヒアリングを実施し整理する。

また、汚泥肥料利用へのエネルギー投入量を把握し、し尿処理場で処分した場合との比較分析を実施する。

#### 4 実証結果のとりまとめ、情報発信

- ・1から3及び平成23年度からの実証結果を基に総取りまとめを行い、報告書を作成する。
- ・集排汚泥の利活用推進を図るため、現地研修会、PR活動及びPRツール作成を行う。

## ■ 田んぼの学校・3時間目「稲刈り」 =雲南市・山王寺=

9月29日、雲南市大東町山王寺で、田んぼの学校3時間目となる「稲刈り」が行われました。

市内外から約70名が参加しましたが、普段は農業にふれる機会のない方が大半で、今回の体験を楽しみにされていました。

当日は、快晴とはなりませんでしたが、農作業をするには暑すぎず、丁度良い状況での農作業となりました。

参加者は、使い慣れない鎌での作業や、雨の影響でぬかるんでいる場所も所々にあり、泥に足を取られながらの作業となりましたが、一生懸命に刈り取りを行っていました。また、県外から参加された外国人の方は、バインダーでの稲刈りも体験されていました。

刈り取った稲は、事前に地区の皆さんが準備された稲ハデにかけましたが、大人に交じり子供たちもハデに上って稲を掛けたり、掛けている人に投げ上げたりと活躍していました。

2時間あまりで、予定していた作業は全て終わり、最後に、地区の女性の方々が用意された、ご飯と豚汁が振る舞われ、おかわりをする方もいて大変好評でした。

(お知らせ)

今年度、最後となる「田んぼの学校・収穫祭」は、11月3日(日)に開催される予定です。



稲刈り作業をする参加者



参加者全員で記念撮影

## ■ 今後の主な予定

- 10月16日 農業農村整備事業意見交換会(東京都・農林水産省)
- 10月17日 第2回県土連役員会(東京都)
- 10月22日 中国四国県土連事務部会(香川県)
- 10月30日 「うしおの沢池」森林保全活動(雲南市大東町山王寺)



水土里ネット島根 (島根県土地改良事業団体連合会)

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141  
ホームページ<http://www.shimanedoren.or.jp/> メール[smndoren@shimanedoren.or.jp](mailto:smndoren@shimanedoren.or.jp)